タケノコガイ（巻貝類タケノコガイ科）　*Terebra*　sp.　　の仲間

大きさ：殻長 6~7cm ほど。

英名：Tusk（きば）　shells

　きわめて高い（長細い）塔状の殻をもつ。

砂底に多くの種が生息するほか、泥底や礫底にもその底質特有の種類がすみわけている。

　肉食性で、イモガイ類と同様の矢の形に変形した歯舌をもち、砂中のゴカイやギボシムシ類などを襲って食べる。

　沖縄では 50 種類ほどが知られている。この仲間は食用になしないが、殻が美しいため、装飾用として利用できる。

　日本では、筍（タケノコ）貝や錐（キリ）貝という。

写真の個体は、生きており、びっくりして引っ込んでいる。ヤドカリの仲間がちょうどお引っ越ししようとサイズを調べていたが、中身が入っていたので、あきらめてしまった。